

教育委員会だより

第45号 (令和8年5月～8月)

発行者

池田町・養基組合教育委員会

池田町六之井1468-1

tel. 0585-45-3111 fax. 0585-45-8314

e-mail yakuba@town.gifu-ikeda.lg.jp

教師が生きがいをもって 子どもがかかわれるために

教育長 高橋 利行

働き方改革関連法の施行に伴い、社会全体として「働き方改革」が求められるようになってきました。学校で勤務する教職員には、心身ともに健康で、子どもたちに明るい笑顔で向き合うことが求められています。しかし、全国的には、教職員の長時間に及ぶ時間外勤務などにより、心身の健康に支障をきたす事案も起きてきています。

子どもたちが元気に楽しく遊び、学ぶことができる学校を維持していくためには、教職員が心身ともに健康で、自らの職に誇りと自信をもち、生きがいをもって子どもに向き合うことが何より重要であると考えています。

教職員一人ひとりが心にゆとりをもち、じっくり児童生徒に向き合うことで、児童生徒の健やかな成長を促していきます。

そのために

1 教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画「教師が生きがいをもって 子どもとかかわれる環境づくりのために!」を作成しました。詳しくは教育委員会のホームページをご覧ください。地域の皆様には次のことをご理解ください。

① 夏休みや年末年始に「学校休業日」を設定させていただき、教職員が勤務しない日を設定します。

② 勤務時間外の電話については「留守番電話」

の対応とさせていただいております。

2 教職員との連絡・面談にあたってのお願い
学校に対しては気軽に相談ください。学習、人間関係、不登校、進路・進学、学校生活への要望、特別支援など、様々な事柄があると思います。しかし、教職員も日常の業務があり児童生徒とかかわる時間を確保していきたいと思えます。ぜひ次のことについてご理解・ご協力をお願いします。

① 学校への連絡は、原則として、教職員の勤務時間内に、簡潔にお願いします。

② 面談等は、教職員と保護者の双方であらかじめ調整した日時に行うことを原則とし、平日の放課後に30分を目安としてお願いします。(状況に応じては60分程度まで)

南部校長会との 合同会議を開催しました

4月28日に今年度第1回目の南部校長会との合同会議を開催しました。

各校長からは、今年度の学校経営方針の説明がありました。どの学校も「子どもたち同士のふれあいを通じて『生きる力』を育む」という池田町教育大綱の基本理念を受けて、目指す子ども像や今年度の重点活動が明確に示されていました。

また、教職員の五箇条や合言葉等を作り、同じチームとして一丸となって児童生徒を育てていくという温かい職員集団を目指しておられることが分かりました。その後、4月に新しい学年がスタートしてからの子どもたちの様子についてお話

がありました。

教育委員会からは、各校の経営方針についての感想や、入学式に参列した際に感じた素晴らしい子どもたちの様子や保護者の学校に対する期待感等について報告が述べられました。

各校が新たな教職員体制のもと、心機一転、令和8年度のよいスタートが切れたことが伝わってきました。



各学校で学校運営協議会を 開催しました

池田町・養基組合の各学校で学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会は、保護者及び地域住民の学校運営への参画の促進や連携強化を進めることにより、学校と保護者、地域住民等と信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組むことを目指して設置されています。

5月11日に開催された宮地小の様子を紹介いたします。

委嘱状交付の後、教育長から教職員の働き方改革の一環として、学校と地域との業務分担につい

ての考え方の説明を受け、今後検討を深めていく事としました。

学校からの学校経営の全体構想と日程説明の後、全学年の授業を参観し、どの学年も児童数が少ないこともあるのか、先生と児童とが一体となって授業が行われていることを強く感じました。先生方のフットワークがよく丁寧な机間指導がされており、また目線を意識的に低くしての指導が印象的でした。

また、算数の計算式の説明では児童に選ばせた数字を使って行われていることや、数字の選ばせ方にも遊び心を加えた方法がとられているなど、児童を集中させるための工夫が多く感じられました。外国語の授業では、児童が極めて積極的に会話練習に参加している様子が見られました。

懇談会では、各委員から各授業等を評価する声がいっぱい、以上に多く聞けましたが、授業中の姿勢に注意してほしい、社会人になっても大いに必要な整理整頓をより指導してほしい等の意見も聞けました。

学校からは、複式学級について学活以外は学年ごとの授業を行っていることから、学力的にも問題はないと思われること、児童・保護者からも好意的な意見が多いこ



と、また、児童数が少ないことがマイナスにならないよう、縦割りの活動や養基小との交流等に力を入れている旨の報告がありました。

各学校の学校運営協議会会長名

- 【温知小学校】 5月12日開催
会長 柳生 一成（中公民館長）様
- 【八幡小学校】 5月25日開催
会長 小林 正男（区長会長）様
- 【宮地小学校】 5月11日開催
会長 野原 實（宮地公民館長）様
- 【池田小学校】 5月15日開催
会長 岡崎 哲郎（東公民館長）様
- 【養基小学校】 5月22日開催
会長 藤原 政文（脛永公民館長）様
- 【池田中学校】 5月22日開催
（会長は決めています）

揖斐郡教育委員会連絡協議会

総会が開催されました

5月15日、本会の総会が池田町役場で開催され、昨年度の事業・決算報告、本年度の事業計画・予算案が審議されました。令和6・7年度は池田町教育委員会が事務局を担当し、総会と研修を計画・実施しました。昨年度の研修として、11月に開催された温知小の研究発表会に郡内の教育長と教育委員が授業を参観させていただきまし

池田町青少年健全育成町民大会

2026が開催されました

5月31日、青少年健全育成町民大会が開催され、青少年育成団体等の関係者や地域住民あわせて205名の参加がありました。

第1部では、まず、教育委員会功労者表彰（7名）、町PTA連合会表彰（13名と1団体）が行われました。表彰を受けられた皆さま、誠におめでとうございます。

その後、大会決議宣言が採択されました。実践発表では、東地区の青少年育成委員の取り組みについて発表がありました。「なにも特別なことをする必要はなく、地域の大人として子どもたちに関わる」「挨拶をする、声をかける、褒める、一緒に活動すること」に重点を置いているそうです。地域行事や公民館活動で、できる範囲でいいので積極的に子どもたちと関わりを持つことの重要性を再認識しました。



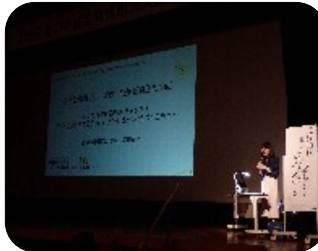
第2部では、池田中3年生3名による「少年の主張 揖斐郡大会プレ発表会」が行われました（1名代読）。内田心音さんは「『かけー！』私の姉」、窪田陽斗さんは「見えないつらさ」、鈴木那奈さん「私の経験をあなたの『きっかけ』に」というテーマでした。どの主張も日常の中で感じていることや新たな気づき、より良い社会のあり方への強い願いなど、情感あふれる印象的な主張でした。

第3部では、岐阜大学大学院教育学研究科の平沢紀子教授による教育講演会が行われました。

「良さを引き出し、認め、成長を喜ぶために」と題し、子どもの行動の理由を理解し、望ましい行動を育てる「ポジティブ行動支援」を中心に、講話をうかがいました。

子どもの行動の背景や理由を理解し、良さを引き出す環境や手応えを感じる状況を作り、肯定的な関わりを構築することが、相対的に問題行動を減らすことにつながるということがよく分かりました。

参加いただきました皆さまに深く感謝申し上げます。



西濃地区教委連絡協議会

総会・研修会が開催されました

6月26日、令和8年度の西濃地区教委連絡協議会の総会及び研修会が、関ヶ原町関ヶ原ふれあいセンターで開催されました。

総会では、前年度の事業報告・決算報告、令和8年度の事業報告案・予算案について審議し、承認されました。総会の後、教育委員研修会が行われ、大垣市と輪之内町の各教育委員会の発表がありました。

大垣市からは、特別支援教育対象児童生徒の増加に伴う現状から、ニーズの多様化へ対応できるよう「スマイルサポートチーム」を立ち上げたこと、早期からの切れ

目ない支援や教員の専門性を向上させるための取組みを行っていることが紹介されました。今後は、西濃管内市町と情報を共有し、更に連携を進めていきたいと話されました。

輪之内町からは、「住民と行政が一緒に育む『わが町の宝物』」という輪之内町文化財活用事業の紹介がありました。住民の意識を文化財を「守る」から「愛する」へ変えるために、地域を一緒に歩き、一緒に楽しむ活動を実践され、住民一人ひとりが、「わが町の語り部」としての自覚を持ち、地域への深い誇りが生まれるようになったと成果を話されました。

最後は、関ヶ原町役場 地域振興課の富田真一郎氏による「関ヶ原の戦いと古戦場の『これまで』と『これから』」という演題で講演がありました。

関ヶ原古戦場は、幸いにも開発を免れ、合戦直後から多くの遺跡が保存顕彰されてきました。しかし、古戦場の活用が課題でした。そこで、岐阜県と共同で行った拠点施設「岐阜関ヶ原古戦場記念館」の開館と合わせ、一帯を古戦場に相応しい環境に整備することができたことこれまでの取組みを話されました。



これからは、現在の景観をいかに未来につなげていくか、また、大河ドラマや記念館効果を町内に波及させるために、関係人口の活用も考えていきたいと結ばれました。

総会並びに研修会に参加し、他の地域の取組みを聞き、自分の地域を見直す大変有意義な会になりました。

西濃教育事務所学校職員課訪問に 同行しました

西濃教育事務所による学校訪問が、7月1日八幡小・宮地小、8日温知小・養基小、9日池田中、10日池田小で行われ、授業参観及び学校施設管理・各種帳簿類の監査等が行われました。

訪問に同行し、子どもたちの様子を参観しました。

温知小では

どの学年の子どもたちも落ち着いて学習に取り組んでいました。特に、低学年児は、聞く・話すという学習の仕方や規律が定着していました。

タブレットを活用している授業を参観することがありませんでした。より積極的な利用を期待しています。



八幡小では

ロイノート等のICTの活用により、前向きに学習に向かう姿が見られました。

先生方の表情や言葉がけに優しさ、温かさを感じ、先生と子どもたちとの信頼関係ができており、安心して学び、学校生活を送っていることが伝わってきました。

お客さんに礼や会釈をしたり、笑顔で返答したりと、気持ちの良い対応ができる子がいました。

「主体的、対話的で深い学び」のある授業を目指して、グループ交流や全体交流が行われていました。子どもに任せ、間違えながらも考えを深め合って課題解決していく展開、学習の喜び、醍醐味を味わえるような交流をさらに期待します。

宮地小では

すべての学年の七つの授業を参観しましたが、「大きな声での音読」「積極的な意見の発表」「隣同士での教え合い」「グループでの楽しそうな活動」「楽しそうな外国語の会話練習」等、良い授業が行われている様子が伺えました。

各授業5分程の参観でしたが、子どもたちの笑顔もたくさん見られた良い時間でした。

池田小では

どの学級も児童が落ち着いて集中して授業に取り組んでいました。授業では、タブレットを上手に活用し学習を深める工夫が見られました。少人数のグループで意見を交流する場面もあり、友だちの考えを聞いたり、自分

の考えを伝えたりしながら学ぶ姿が見られました。ICTの活用と友だちとの交流を取り入れた工夫された授業が行われていました。子どもたちが生き生きと学ぶ姿から、日々の学びの積み重ねを感じました。

養基小では

どの学級も落ち着いた雰囲気の中で、先生の話をしっかりと聞いて学習している姿が見られました。また、先生方が一人ひとりの学習状況を把握し、待ったり、声掛けをしたりして丁寧に指導されていました。この指導が子どもたちの落ち着きある学習姿勢に繋がっていることを感じました。

池田中では

大型スクリーンを効果的に活用したり、小集団を取り入れたりして、多くの生徒が意欲的に取り組んでいました。

授業の中で、生徒が自由にタブレットを活用できる場を位置づけられることを期待しています。

誰もいない空き教室の机や椅子がきちんと整えられており、緊張感が伝わってきました。



編集後記

池田町青少年健全育成町民大会の「少年の主張 揖斐郡大会プレ発表会」で発表をした3名の中学生のうち、2名が揖斐郡で行われた大会と西濃地区での審査を経て、県大会へ出場し、優秀な成績をおさめられました。誠にありがとうございました。

携帯電話やスマホの普及で、コミュニケーションも言葉による対話から、文字によることが増えてきました。そうした変化の中、言葉や表情による気持ちの伝達は、情操教育の基本として大切にしたいものです。

今後も教育委員会だよりでは、活動状況を発信していきますので、本たよりについてお気づきの点があればお知らせください。

編集担当：勝野茂優・林啓子

教育委員会の主な活動報告

令和8年5月～8月

日 付	活 動	場 所
4月16日	池田町・養基組合合同教育委員会	庁舎会議室
28日	南部校長会との合同会議	〃
5月13日	池田町・養基組合合同教育委員会	〃
15日	揖斐郡教育委員会連絡協議会総会	〃
31日	池田町青少年健全育成町民大会	中央公民館大ホール
5月～6月	学校運営協議会	各小中学校
6月10日	池田町・養基組合合同教育委員会	庁舎会議室
26日	西濃地区教委連絡協議会総会・研修会	関ヶ原ふれあいセンター
7月1日	西濃教育事務所学校訪問（同行）	八幡小・宮地小
8日	〃	温知小・養基小
9日	〃	池田中
10日	〃	池田小
〃	池田町・養基組合合同教育委員会	庁舎会議室
8月3日	初任者研修会	〃
19日	池田町・養基組合合同教育委員会	〃
〃	教育委員会だより編集委員会	〃